

■小谷三志 神道家, 指導的行者, 不二道開祖。女人連れて禁制富士登頂を強行。

こたにさんし

錦絵始・・・1765＝ 武蔵国日光御成道鳩ヶ谷宿で、代々造り酒屋向け麴屋営む河内屋太兵衛の長男に生まれる。本名庄兵衛。

田沼意次老中1772＝ 7歳：

解体新書・・・1774＝ 9歳：

蘭学階梯・・・1783＝18歳：

田沼意次失脚1786＝21歳：

家業のかたわら、近所の子どもたちの手習い師匠や鳩ヶ谷宿の間屋役をつとめる一方、

若い頃から信仰心も厚く、

混浴禁止・・・1791＝26歳：この年から、鳩ヶ谷の浅間社等に裸参りを始め、

ワカマン来日・・・1792＝27歳：

松平定信引退1793＝28歳：

やがて、富士講に入ると、弟子を抱えて、毎年富士登山をするなど、典型的な富士行者となって行くが、

伊能測量始・・・1800＝35歳：

宣長没・・・1801＝36歳：

富士登山の際、山頂で先達から富士講を中興した食行身祿の教えとその伝道者参行祿王の存在を聞くと、

以後9年間、参行祿王を探し続け、

浮世風呂・・・1809＝44歳：

・・・1810＝45歳：

*江戸山谷で老病貧窮のなか後継者のために著述を続けていた参行祿王を探しあて、師弟の契りを結び、全てを伝授されて、祿行三志の名跡を与えられ、報告のため富士登山に向かった直後、参行祿王は死去。

以後、本業は息子に任せて、富士講身祿派の大行者となり、まず鳩ヶ谷の造り酒屋・醤油屋の旦那らが弟子入りしてくるなど、目覚ましい布教活動するうち、自らの教えを“不二孝”と名づけ、

水野忠成老中1818＝53歳：

群書類従完結1819＝54歳：

*親交富士講とは別に不二孝教団を独立させるも、あくまで歴代師匠の遺風を伝えることに徹し、仁孝天皇踐祚の大嘗祭参賀に上京した際、公家と親交し始め、

以後、幕府からは度々禁令を受けるが、安定した政治のためと、毎年のように上方で布教をし、公卿にも信者ができるようになる一方、

シボ 出来日・・・1823＝58歳：

異国船打払令1825＝60歳：

この年から下野国桜町領で農村復興に取り掛かり始めた二宮尊徳に、門下挙げて協力し、弟子たちが尊徳の報徳仕法を広める主力となって行く。

長崎行きを始め、オランダらと交流して、開国に向けた心構え等を書状にして弟子に送り、回覧させる。

シボ 事件・・・1828＝63歳：

富籤流行・・・1830＝65歳：

鼠小僧磔・・・1832＝67歳：

右大臣九条尚忠に招かれて講話するに至る。七五調146行の和讃をつくって以降、歴代師匠が露わにできなかったことを、世相に合わせて次々和讃にして、“四民平等”“男女平等”を強く教えるようになり

*富士山の女人禁制を解禁させるべく、初めて女人を連れて登頂を強行。

大塩平八郎乱1837＝72歳：

不二道組織を数万人の規模にし、和讃13編、散文体5編のほか、多くの道歌を遺して、

天保改革始・・・1841＝76歳：鳩ヶ谷の自宅で、没した。